



第4部門 『地域福祉まちづくりの現状と実践的展開』

(平成 17 年 7 月発行)

A 4 102 ページ

本書は、地域福祉まちづくりの事例として、秋田県秋田市の福祉のまちづくり、千葉県松戸市のバリアフリーの実践活動に関して、研究を行ったものである。福祉のまちづくりの始動期から成熟期までのプロセスを詳細に分析している。

目次

【1】少子高齢社会と福祉のまちづくり

ーバリアフリーな生活環境の実現を目指してー

高尾公矢（聖徳大学人文学部社会福祉学科教授）

はじめに

第I部 鷹巣町の福祉のまちづくり

第II部 福祉のまちづくりの展開

第III部 鷹巣町はどのように変わったのか

第IV部 福祉のまちづくりのゆくえ

【2】大学の市民活動支援と地域連携によるバリアフリーのまちづくり

ー千葉県松戸市における取り組みー

蓑輪裕子（聖徳大学短期大学部総合文化学科助教授）

研究の背景と目的

第I部 バリアフリーのまちづくりに関する生涯学習講座

第II部 市民・大学の協働によるバリアフリーのまちづくりの実践活動

第III部 バリアフリーのまちづくりニーズ調査